



ヒーターキット

液冷 Workman® MD/HD 汎用作業車

モデル番号 07349—シリアル番号 405500001 以上

取り付け要領

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
ヒーター取り付けアセンブリ	1	ヒーターキットHDX, HDX-D, HDX-Auto 用を取り付けます。
ヒーターアセンブリ	1	
ストレートフィッティング $\frac{3}{8}$ "	1	
Uボルト $\frac{3}{8}$ "	2	
ロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
ホース用チャネル	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ヒーターコントロールパネル	1	
タッピングねじ#12 x $\frac{1}{2}$ "	4	
90° ヒーターホース	1	
ヒーターバルブ	1	
R クランプ	1	
字フィッティング $\frac{5}{8}$ "	1	
ガasket	1	
キャップフィッティング $\frac{3}{4}$ "	1	
字フィッティング1" = 25 mm	1	
アダプタフィッティング	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ホースクランプ $\frac{1}{2}$ "	8	
ホースクランプ $\frac{7}{8}$ "	2	
ホースクランプ $\frac{3}{4}$ "	2	
冷却液ホース $\frac{3}{8}$ x 12"	1	
冷却液ホース $\frac{5}{8}$ x 124"	2	
ヒーターケーブルコントロール36"	1	
じゃばら導管 $\frac{7}{8}$ x 96"	2	
ワイヤハーネス	1	
フランジヘッドボルト5/16" x $\frac{3}{4}$ "	1	
フランジナット5/16"	3	
タッピングねじ5/16 x $\frac{3}{4}$ "	6	
ヒューズブロック	1	
ヒューズ (20 A)	1	
フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
ロックナット $\frac{1}{4}$ "	2	
フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "	2	



内 容	数 量	用 途
ヒーター取り付けアセンブリ	1	ヒーターキットMDX-D 用を取り付ける。
ヒーターアセンブリ	1	
ストレートフィッティング $\frac{3}{8}$ "	1	
Uボルト $\frac{3}{8}$ "	2	
ロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
ホース用チャネル	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ヒーターコントロールパネル	1	
タッピングねじ#12 x $\frac{1}{2}$ "	4	
90° ヒーターホース	1	
ヒーターバルブ	1	
R クランプ	1	
ガasket	1	
キャップフィッティング $\frac{3}{4}$ "	1	
字フィッティング1" = 25 mm	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ホースクランプ $\frac{1}{2}$ "	8	
ホースクランプ $\frac{7}{8}$ "	2	
ホースクランプ $\frac{3}{4}$ "	2	
冷却液ホース $\frac{3}{8}$ x 12"	1	
冷却液ホース $\frac{5}{8}$ x 124"	2	
ヒーターケーブルコントロール36"	1	
じゃばら導管 $\frac{7}{8}$ x 96"	2	
ワイヤハーネス	1	
フランジヘッドボルト5/16" x $\frac{3}{4}$ "	1	
フランジナット5/16"	3	
タッピングねじ5/16 x $\frac{3}{4}$ "	6	
ヒューズブロック	1	
ヒューズ (20 A)	1	
フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
ロックナット $\frac{1}{4}$ "	2	
フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "	2	
ヒーターブラケット2016年およびそれ以降のモデルのみ	1	
フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" 2016年およびそれ以降のモデルのみ	2	
フランジナット5/16" 2016年およびそれ以降のモデルのみ	2	
六角ヘッドボルト3/8 x 3/4" 2016年およびそれ以降のモデルのみ	4	
フランジナット3/8" 2016年およびそれ以降のモデルのみ	4	

ヒーターとヒーターコントロールを取り付ける

1. ヒーターに付属しているねじを使って、ヒーターブラケットをヒーターに取り付ける [図 3](#)。

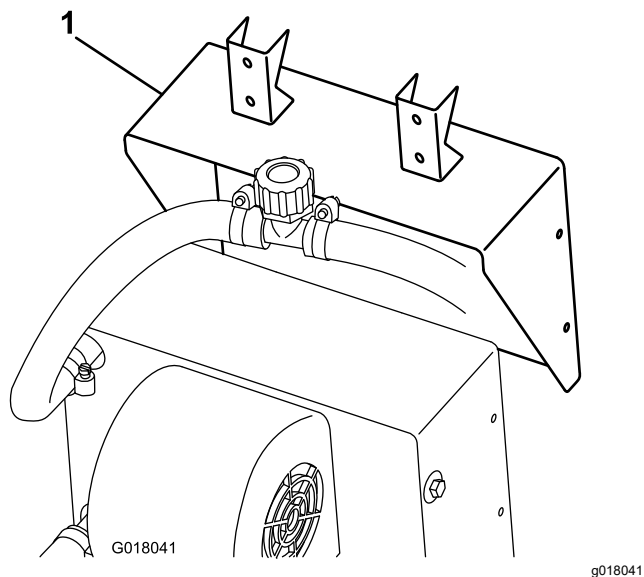


図 3

1. ヒーターブラケット

2. ヒーターとブラケットのアセンブリを、前フレームチューブに取り付けるボルトとフランジナットを使用する [図 4](#)。

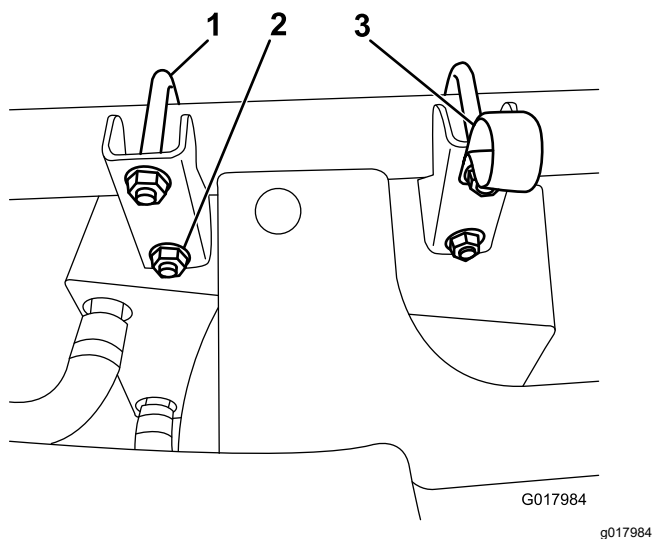


図 4

1. ボルト
2. フランジナット
3. R クランプ

3. 車両の中央に最も近い列の上ナットの下に、R クランプを取り付ける [図 4](#)。
4. ヒーターコントロールマウントに、ヒーターコントロールを取り付けるビス 4 本を使用する [図 5](#)。

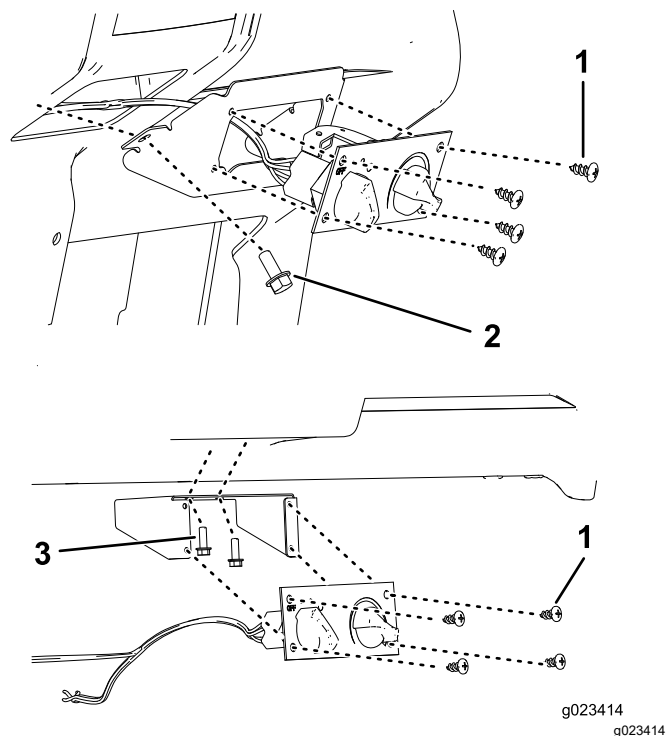


図 5

1. タッピングねじ#12 x 1/2"
2. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"
3. フランジヘッドボルト 1/4 x 3/4"
5. ヒーターコントロールケーブルと黒色のワイヤハーネスコネクタを、ヒーターコントロールとヒーターのワイヤハーネスの白色コネクタに接続する [図 5](#)。
6. ダッシュボードの開口部にブラケットを合わせ、穴をあけるべき場所にマーキングをし、ドリルを使って必要な穴をあける。
7. ヒーターコントロール用マウント正面にフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" 4本を使い、さらにマウント側面にボルト 5/16" 2本HD モデルの場合 またはボルト 1/4" 2本MD モデルの場合を使って固定する [図 5](#)。
8. ヒーターコントロールケーブルを、ヒーターバルブに接続する [図 6](#)。

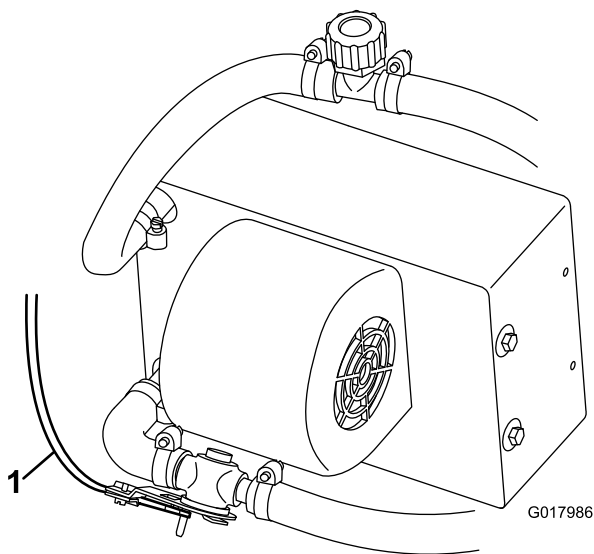


図 6

1. ヒーターコントロールケーブル

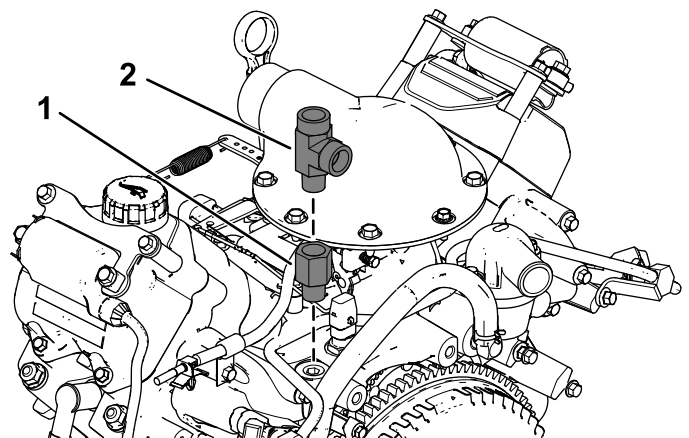


図 8

1. アダプタフィッティング 2. T字フィッティング

3. ホースクランプを使って、温度スイッチとホース 3/8"とアダプタフィッティング 5/8"を図 9のように取り付ける。

HDX-Auto 用のホースを取り付ける

1. サーモスタットのハウジングから温度スイッチを外す図 7。

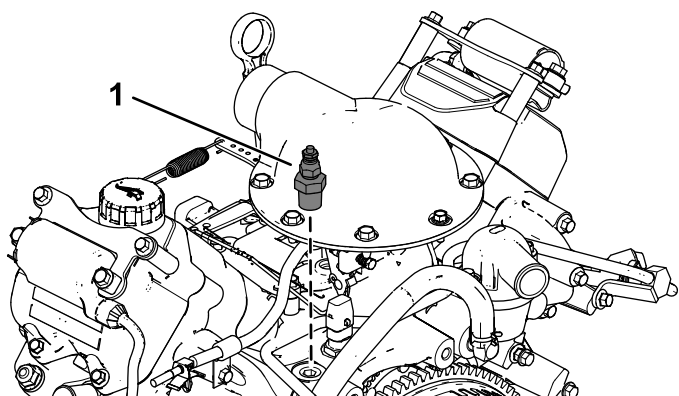


図 7

1. 温度スイッチ

2. アダプタとT字フィッティングを取り付ける図 8。

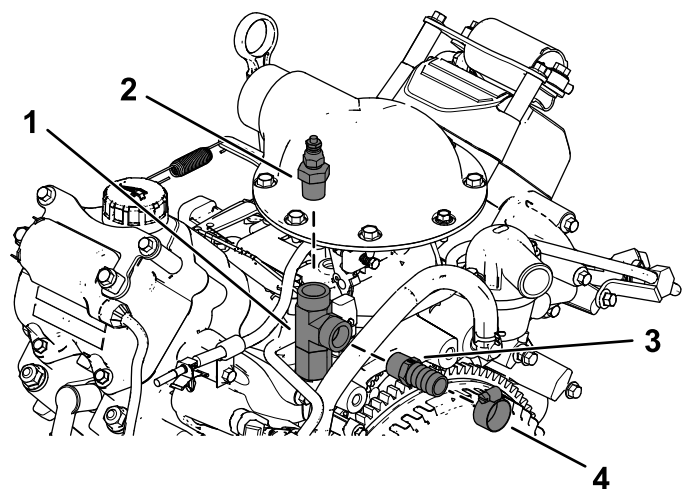


図 9


1. T字フィッティング 3. アダプタフィッティング
2. 温度スイッチ 4. ホースクランプ

4. 下側ラジエーターホースを切断し、この切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ2個で固定する図 10。

HDX と HDX-D へのホースの取り付け

1. プラグまたは温度スイッチ(エンジンの種類によってどちらか一方を外す。

ガソリンエンジンの場合

- A. サーモスタットハウジングのプラグを外す  [図 12](#)。

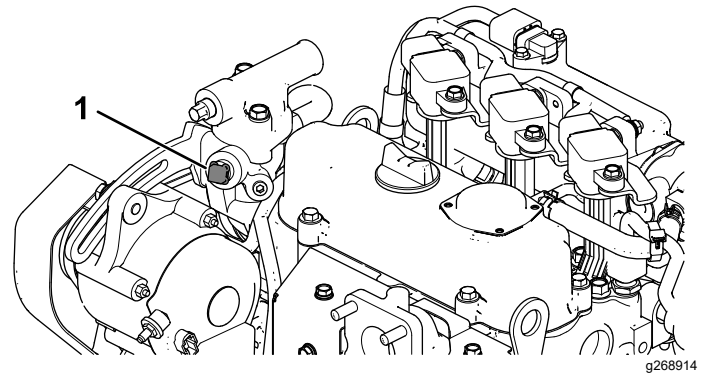



図 12

1. プラグ

- B. ストレートフィッティング $\frac{5}{8}$ "をホースクランプで取り付ける  [図 13](#)。

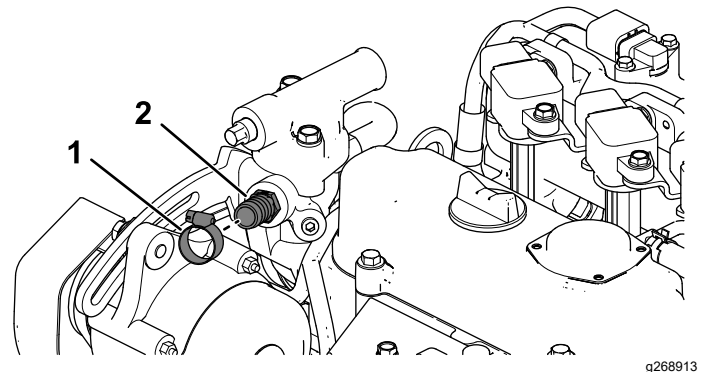


図 13

1. ホースクランプ
2. ストレートフィッティング $\frac{5}{8}$ "

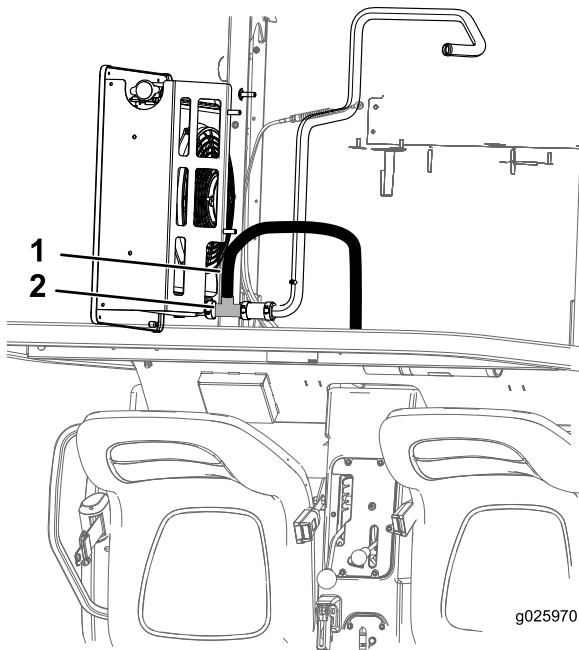



図 10

1. 短いホース
2. 字フィッティング

5. ホース $\frac{5}{8}$ "にじゃばらチューブのカバーを取りつける。
6. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースを車体下部からアクスルの上を通し、ストレートフィッティングまで引き込む  [図 11](#)。

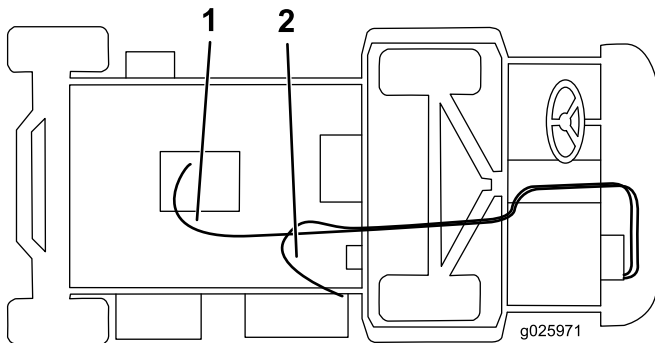



図 11

1. 長いホース
2. 短いホース

7. ホースクランプを使って、短いホースを補給口へ接続し、このホースをヒーターブラケットの R クランプに通し、下ラジエターホースの字フィッティングにクランプで固定する  [図 11](#)。

ディーゼルエンジンの場合

- A. サーマスタットのハウジングから温度スイッチを外す 図 14。

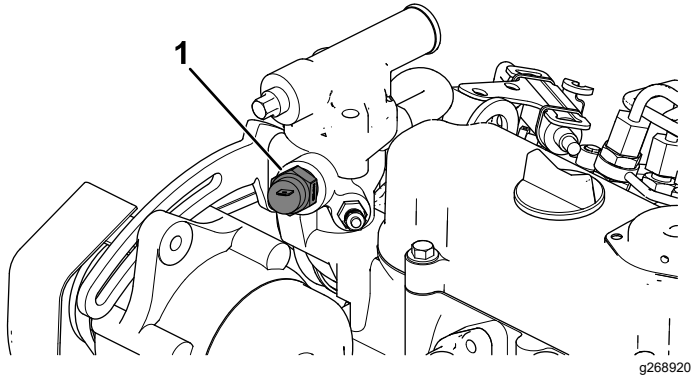


図 14

1. 温度スイッチ

- B. 字フィッティングを取り付ける 図 15。
C. 温度スイッチを取り付ける 図 15。

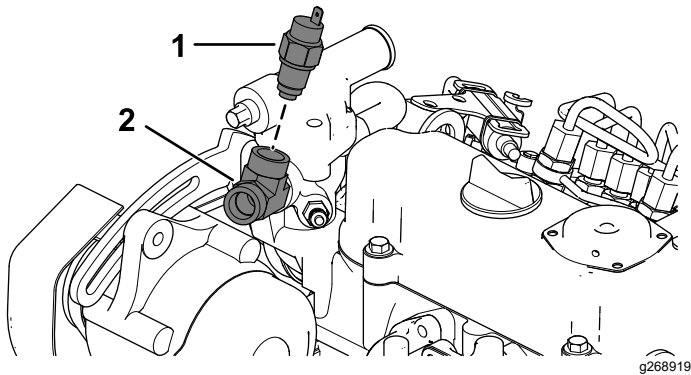


図 15

1. 温度スイッチ 2. T字フィッティング

- D. ホース5/8"とアダプタフィッティング5/8"をホースクランプで取り付ける 図 16。

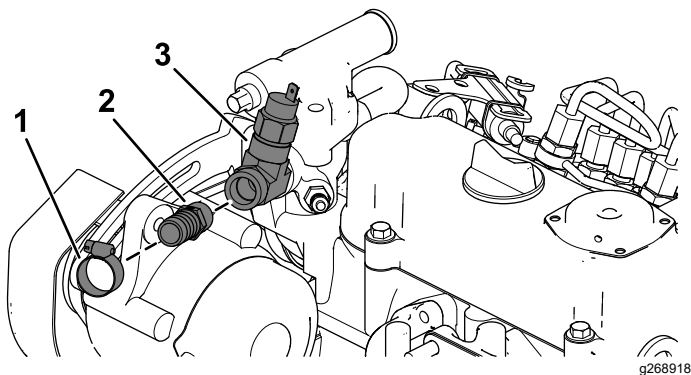


図 16

1. ホースクランプ 3. 温度スイッチとT字フィッティング
2. ストレートフィッティング5/8"

2. 下側ラジエーターホースを、90°の曲がりのセンサーラインから89 mmの所で切断する 図 17。

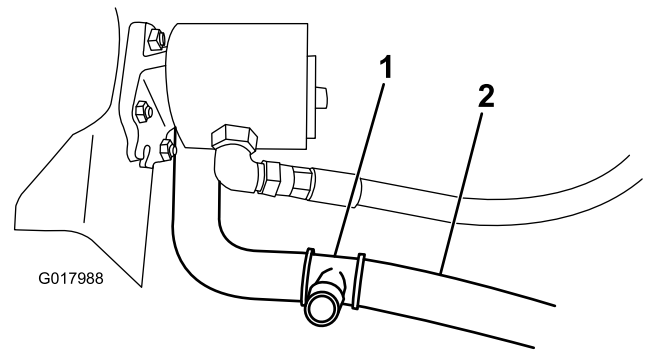


図 17

1. 字フィッティング 2. 下ラジエーターホース

3. 切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ2個で固定する 図 17。
4. ホース5/8"にじゃばらチューブのカバーを取りつける。
5. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースを車体下部からアクスルの上を通し、ストレートフィッティングまで引き込む 図 18。ホースの長さが余っている場合は切断する。

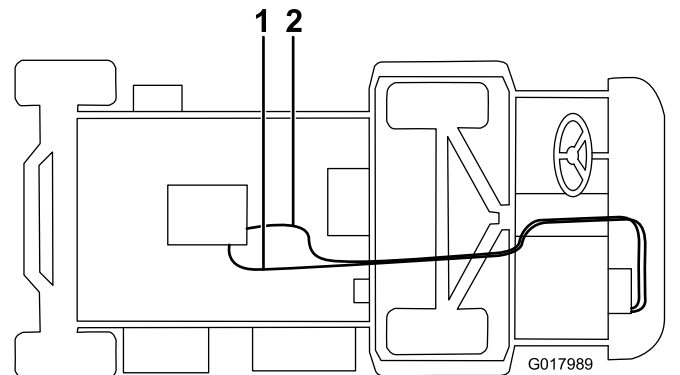


図 18

1. 長いホース 2. 短いホース

6. ホースクランプを使って、短いホースを補給口へ接続し、このホースをヒーターブラケットのRクランプに通し、下ラジエーターホースの字フィッティングにクランプで固定する 図 18。ホースの長さが余っている場合は切断する。

配線の接続を行う

1. ヒーターのワイヤハーネスから出ているピンクのワイヤを、ヒューズブロックの開いているリード線に接続する。
ヒューズスロットに空きがない場合には、新しいヒューズブロックを取り付ける。接続したリード線に対応するスロットにヒューズを取り付ける。
2. ヒーターのワイヤハーネスから出ている黒いワイヤをアースブロックに接続する。

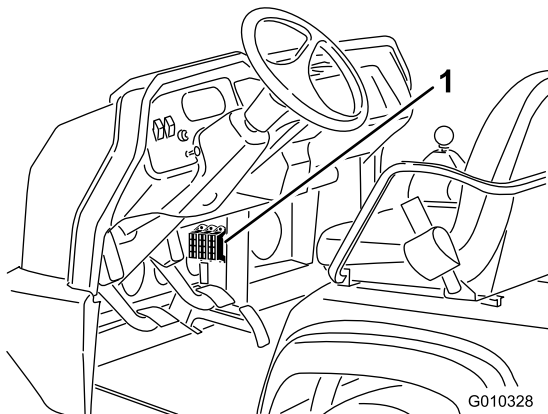


図 19

1. ヒューズブロックのある場所

取り付けの最終手順と点検

1. 各ホースおよびワイヤが鋭利な角や可動部などに触れないように縛って固定する。
2. 最初に外した油圧シールドを元通りに取り付ける。バッテリーケーブルとバッテリーカバーを取り付ける。
3. ラジエターキャップを外して冷却液を入れるオペレーターズマニュアルを参照。
4. ヒーター・アセンブリの近くにある白いT字補給口のキャップを外し、冷却液を補給する。キャップを取り付ける。フードを取り付ける。
5. ラジエターキャップを取る。
6. エンジンを始動し、サーモスタットカバーのブリードねじを開き、流れ出す冷却液が泡を含まなくなるまで待つ。
7. ブリードねじを閉じる。
8. エンジンを停止する。
9. ラジエター液を一杯にして、キャップを閉める。
10. エンジンを始動し、通常運転温度まで温度を上昇させ、エンジンを停止して温度が外気温まで下がった時点で冷却液の量を再点検し、必要に応じて補給する。

MDX-D 車両の場合

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. 荷台を上げ、支持棒で支える。
5. バッテリーカバーと、プラスケーブルを外す。
6. エンジン冷却液を抜き取るオペレーターズマニュアルを参照。
7. フードを開ける。

ヒーターを組み立てる

1. ヒーターアセンブリの下側フィッティングにエルボホースをクランプで取り付ける図 20。

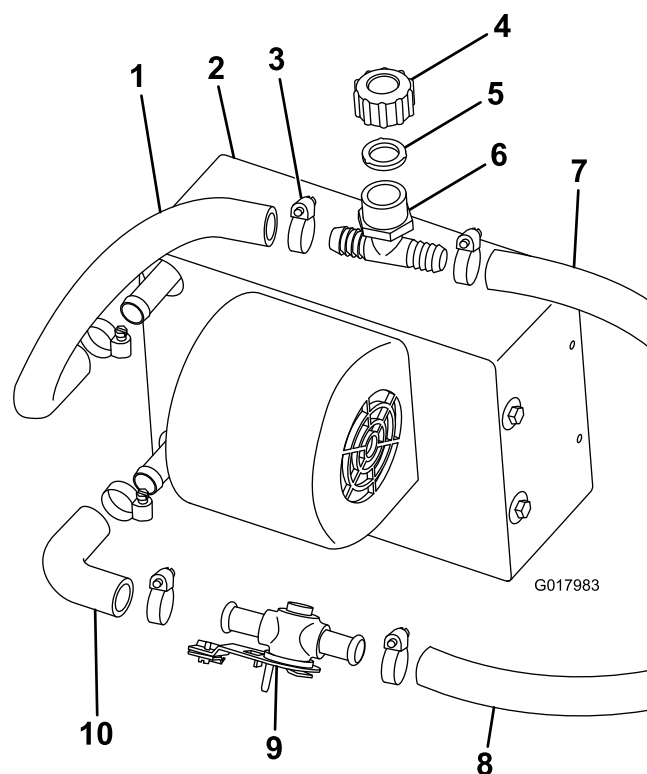


図 20

- | | |
|--------------|------------|
| 1. ホース356 mm | 6. 字形補給口白 |
| 2. ヒーター | 7. 短いホース |
| 3. ホースクランプ | 8. 長いホース |
| 4. 補給用字キャップ | 9. ヒーターバルブ |
| 5. ガasket | 10. エルボホース |

2. ホースクランプを使って、ヒーターバルブをエルボホースに取り付ける図 20。
3. ホース $\frac{5}{8}$ " = 15 mmを、36 cm の長さに切断し、それをヒーターアセンブリの上部フィッティングにホースクランプで固定する図 20。

4. ホースクランプを使って、補給口、ガスケット、キャップを、上部ヒーターホースに取り付ける [図 20](#)。

ヒーターとヒーターコントロールを取り付ける

1. グローブボックスの左から 216 mm、底から 38 mm の位置に、5/16"8 mmの穴を開ける [図 21](#)。

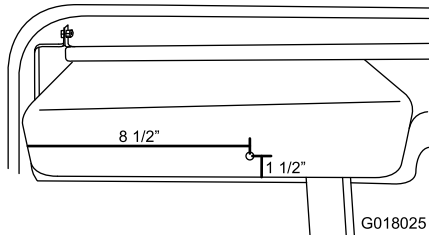


図 21

g018025

2. ヒーターに付属しているねじを使って、ヒーターブラケットをヒーターに取り付ける [図 22](#)。

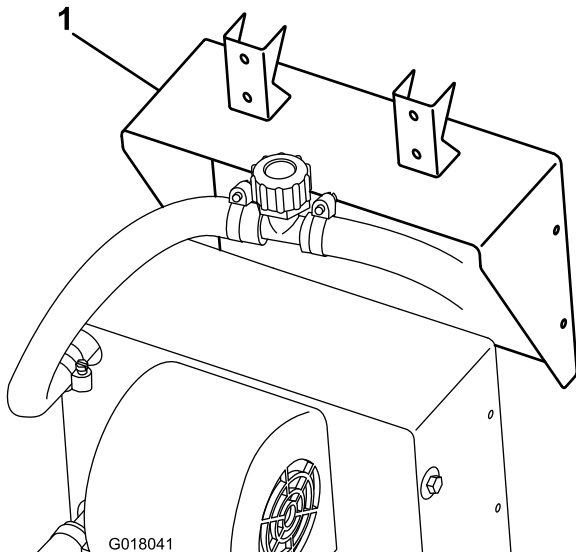


図 22

g018041

1. ヒーターブラケット

3. 2015 およびそれ以前の車両ヒーターとブラケットのアセンブリを、前フレームチューブに取り付けるボルトとフランジナットキットの付属品を使用し、Uフレームに軽く押し当てる程度に固定する。 [図 23](#)

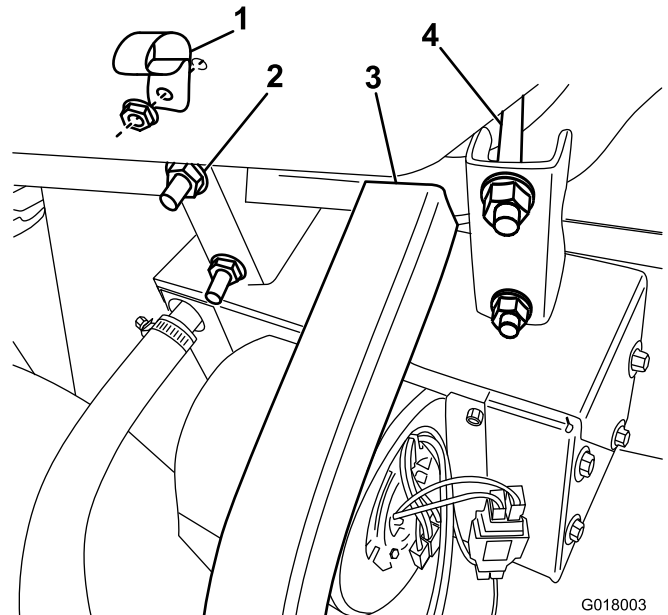


図 23

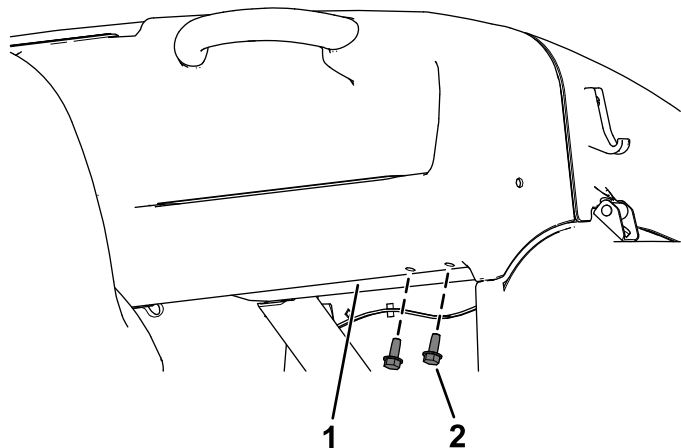
g018003

- | | |
|------------|---------|
| 1. R クランプ | 3. フレーム |
| 2. フランジナット | 4. ボルト |

4. 2016年およびそれ以降の車両

- A. ダッシュボードを車体フレームに固定しているねじ5/16 x 3/4"2本を外す [図 24](#)。

ねじは保管すること。



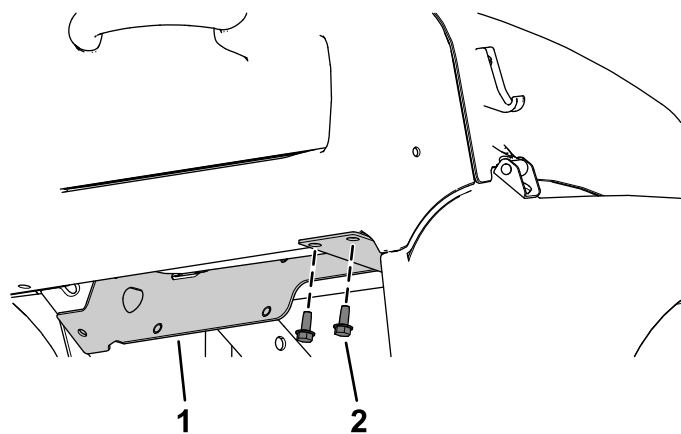
g296659

図 24

1. ダッシュ

2. ねじ5/16 x 3/4"

- B. ヒーターブラケットの右側をダッシュボードに固定する先ほど外したねじ5/16 x 3/4"2本を使用して [図 25](#) のように取り付ける。



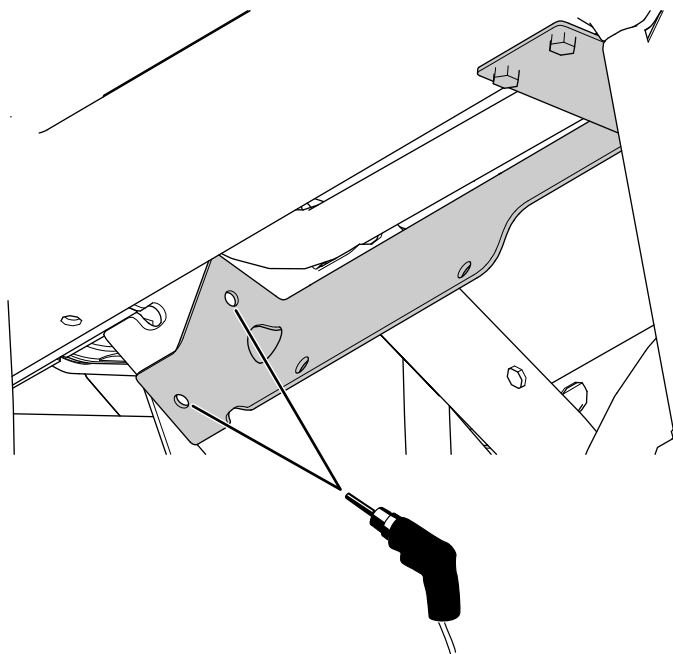
g296662

図 25

1. ヒーターブラケット

2. ねじ5/16 x 3/4"

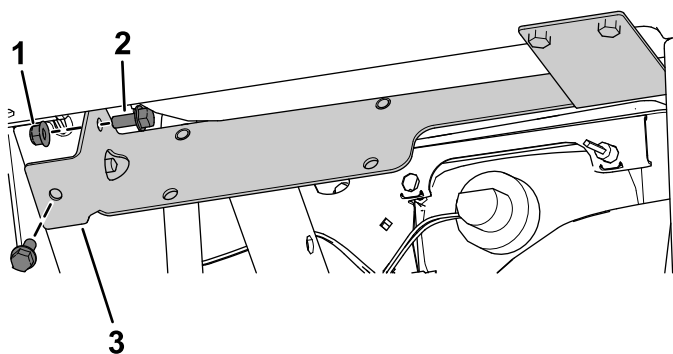
- C. ヒーターブラケットを型紙として使って、ダッシュボードに穴7.9 mmを2つ開ける [図 26](#)。



g296658

図 26

- D. ヒーターブラケットの左側を固定するフランジヘッドボルト5/16 x 3/4"2本とフランジナット5/16"2個を使用して [図 27](#) のように取り付ける。



g296661

図 27

1. フランジナット5/16"

3. ヒーターブラケット

2. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"

- E. ヒーターブラケットにヒーターを固定する六角ヘッドボルト3/8 x 3/4"4本とフランジナット3/8"4個を使用して図 28のように取り付ける。

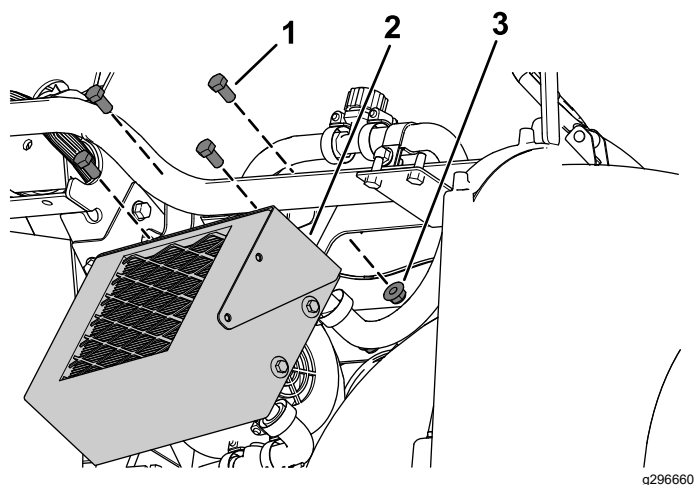


図 28

1. 六角ヘッドボルト3/4 x 3/8" 3. フランジナット (3/8")
2. ヒーター

5. グローブボックスに R クランプを取り付けるフランジヘッドボルトとナットを使用する図 23。
6. ヒーターコントロールマウントをダッシュボードカップホルダーの下に取り付けるフランジヘッドボルト2本とナットを使用する図 29。

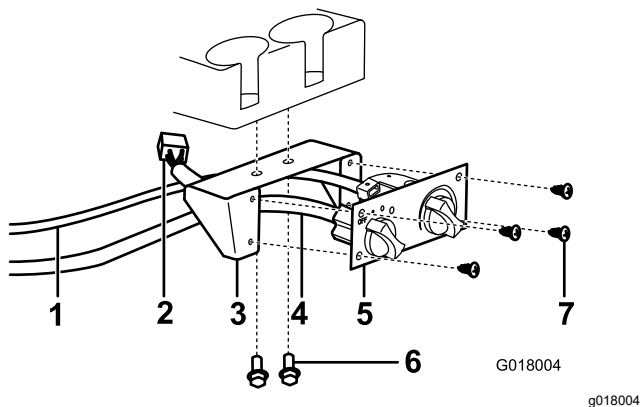


図 29

1. ヒーターコントロールケーブル 5. ヒーターコントロール
2. ワイヤハーネスのコネクタ 白 6. フランジヘッドボルト
3. ヒーターコントロールマウント 7. ビス
4. ワイヤハーネスのコネクタ 黒

7. ヒーターコントロールケーブルと黒色のワイヤハーネスコネクタを、ヒーターコントロールとヒーターのワイヤハーネスの白色コネクタに接続する図 29。
8. ヒーターコントロールマウントに、ヒーターコントロールを取り付けるビス4本を使用する図 29。
9. ヒーターコントロールケーブルを、ヒーターバルブに接続する図 30。

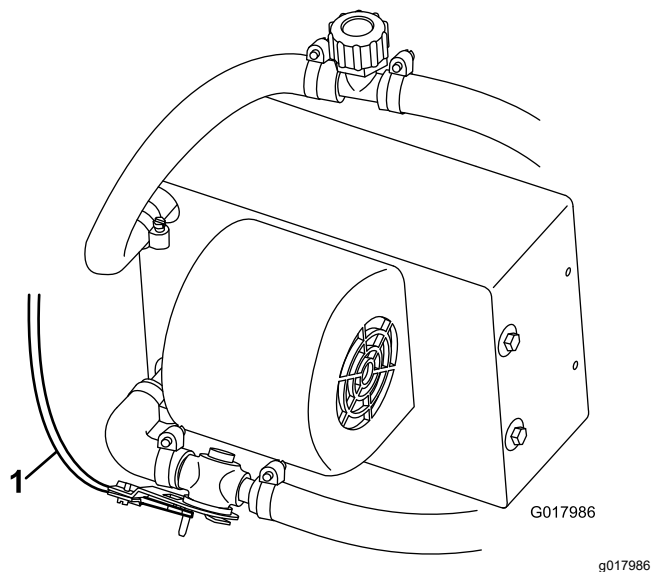


図 30

1. ヒーターコントロールケーブル

ホースを取り付ける

1. 穴あけノコギリ1"25.4 mmを使用して、[図 31](#)のように、シートベースに穴を2つ開ける。

プラスチックを2層ともくりぬくように穴を開けること。

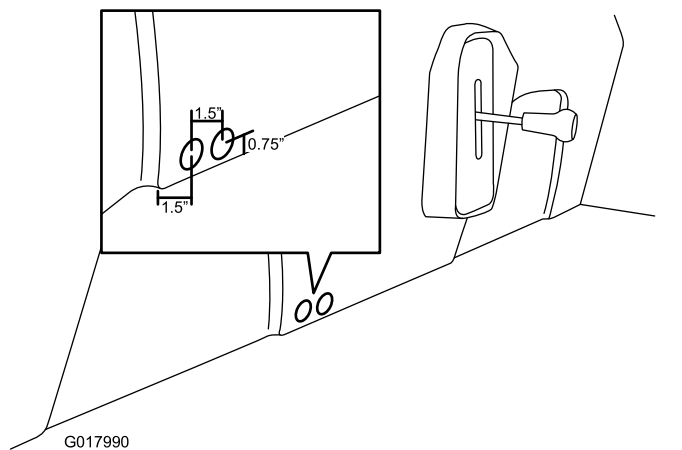


図 31

2. ドリップパンを置く。サーモスタットハウジングの前下にあるプラグを抜き、ストレートフィッティング5/8"にパイプシーラントを塗って車体に取り付ける[図 32](#)。

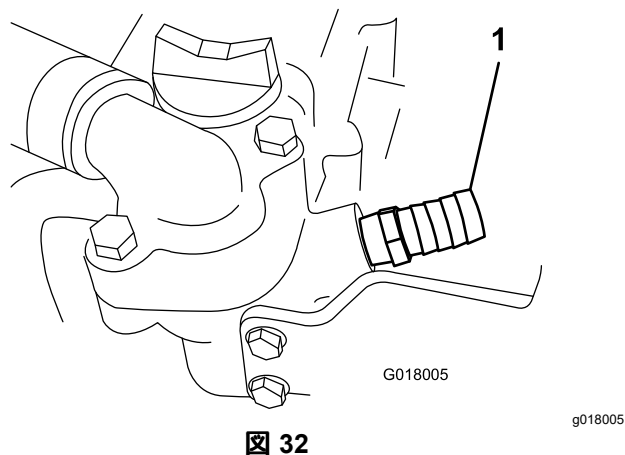


図 32

1. ストレートフィッティング5/8"

3. 下ラジエターホースがラジエターに入っているところから54 mm のところでホースを切断する[図 33](#)。

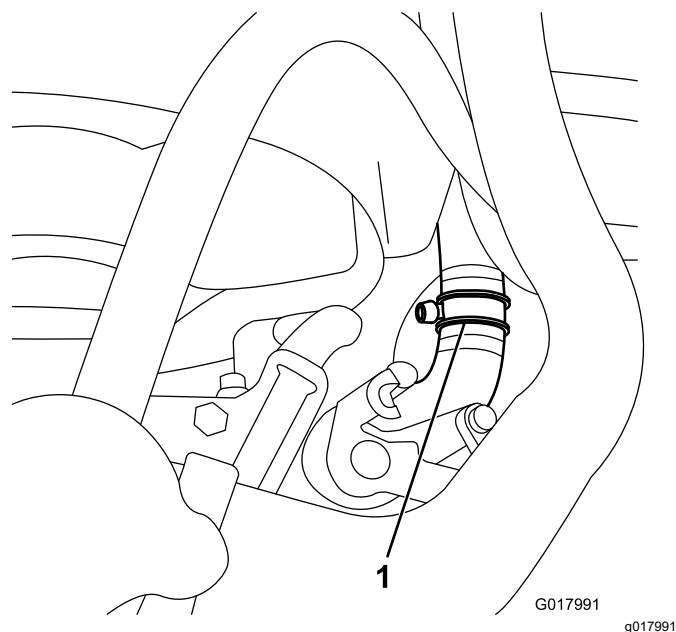


図 33

1. 下ラジエターホースの T 字フィッティング

4. 切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ2個で固定する[図 33](#)。
5. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースをシートベースの穴へ、次に荷台フレームの穴へ通して、ストレートフィッティングにクランプで接続する[図 34](#)。ホースの長さが余っている場合は切断する。

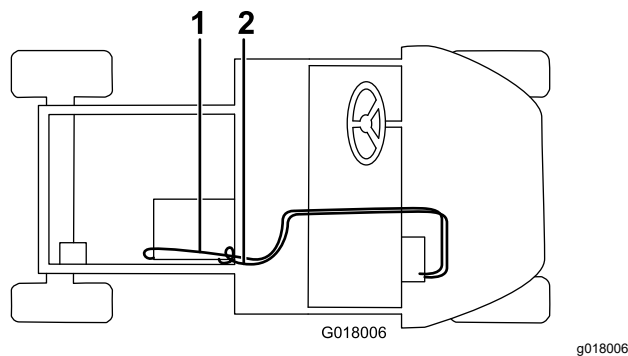


図 34

1. 短いホース
2. 長いホース

6. ホースクランプを使って、短いホースを白い補給口へ接続し、このホースをグローブボックスのR-クランプに通し、シートベースの穴に通し、下ラジエターホースの字フィッティングにクランプで固定する[図 34](#)。ホースの長さが余っている場合は切断する。

配線の接続を行う

1. ヒーターのワイヤハーネスから出ているピンクのワイヤを、ヒューズブロックの開いているリード線に接続する。
ヒューズスロットに空きがない場合には、新しいヒューズブロックを取り付ける。接続したリード線に対応するスロットにヒューズを取り付ける。
2. ヒーターのワイヤハーネスから出ている黒いワイヤをアースブロックに接続する。

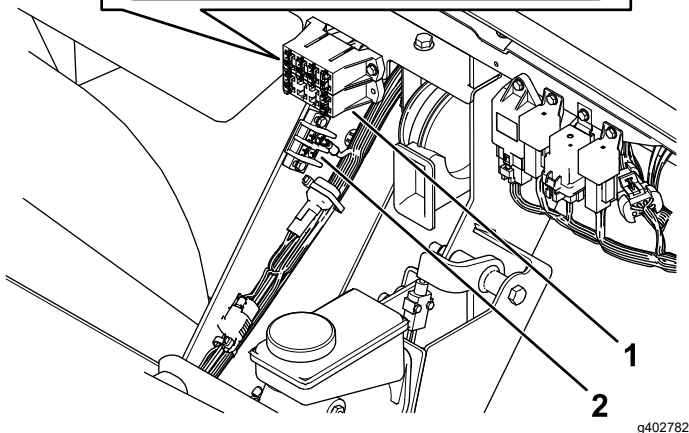
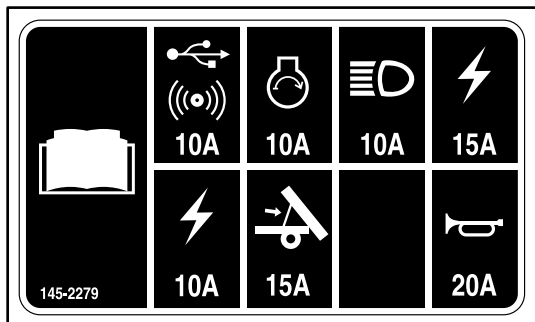


図 35

1. ヒューズブロック
2. アース端子ブロック

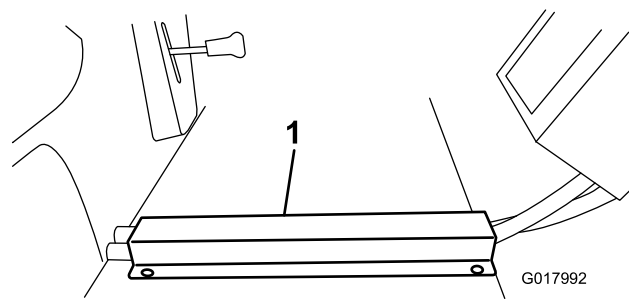


図 36

1. ホース用チャンネル

4. 先ほど外したバッテリーケーブルとバッテリーカバーを元通りに取りつける。
5. ラジエターキャップを外して冷却液を入れるオペレーターズマニュアルを参照。

重要 冷却液の補給に際して、加圧回収タンク以外の場所から冷却液を補充する場合には、加圧回収タンクのふたを開けておかないでください。ふたを開けておくと入れすぎになる可能性があります。タンクの上部に空間がのこっていることが重要です。冷却システムのふたは、1つ以上開けないでください。

6. ヒーターアセンブリの近くにある白いT字補給口のキャップを外し、冷却液を補給する。キャップを取り付ける。
7. 加圧回収タンクのふたを開けて、ダウンチューブの下位置まで冷却液を補給する。
8. エンジンを始動し、通常運転温度まで温度を上昇させ、エンジンを停止して温度が外気温まで下がった時点で加圧回収タンクの冷却液の量を再点検し、必要に応じてダウンチューブの下位置まで冷却液を補給する。

取り付けの最終手順と点検

1. ホース5/8"の露出部にじゃばらチューブのカバーを取りつける。
2. 各ホースおよびワイヤが鋭利な角や可動部などに触れないように縛って固定する。
3. ホースの上からホース用チャンネルを被せて、前側のエッジをフロアボードの前側のエッジにそろえる。フロアボードにドリルで穴を開けて、タップねじで固定する 図 36。

メモ

メモ

メモ

組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
07349	405500001 以上	ヒーターキット液冷エンジン搭載のワークマンMD/HD汎用作業車用	MD/HD HEATER KIT-LIQUID COOLED ENGINES	汎用作業車用アクセサリ	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 25, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
07349	405500001 以上	ヒーターキット液冷エンジン搭載のワークマンMD/HD汎用作業車用	MD/HD HEATER KIT-LIQUID COOLED ENGINES	汎用作業車用アクセサリ	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 25, 2022

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます。エアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータまたはディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toro の純正交換部品以外の部品を使用したことまたは Toro の純正部品以外のアクセサリーや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用中に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。